

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業評価シート						平成 29 年度事後評価・決算		所管課		生涯学習課		担当班	文化振興班
事務事業名		コード	39900	文化振興事業		予算科目		会計		款	項	目	事業種別
①				(文化振興事業)(文化施設の利用助成事業)		一般		10	4	2			
施策 体系	基本施策	13		芸術文化の振興・伝統文化の保存		根拠法令		旭市文化振興基金条例、旭市文化振興規則ほか					
	施策の展開	26		芸術文化の振興		戦略事業		129	文化施設の利用助成事業				
	施策の展開					戦略事業		130	文化振興事業				
☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☒ 新市建設計画 ☒ 定住自立圏構想 ☒ 主要事業													

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		文化振興事業(あさひ青少年少女合唱団補助金を除く)とは、1. 千葉県東総文化会館にて市主催のコンサート・寄席・音楽祭・あさひのまつりなどを開催し、2. 市内で活動する歌謡・舞踊などの団体に対し、東総文化会館を使用する際に文化施設使用料を助成する事業。 1. 市主催事業 (有料):ロシア交流コンサート、あさひ寄席 (無料):市民音楽祭、あさひのまつり、市文化祭、文化講演会、スプリングコンサート、NHK公開番組 2. 使用料助成 歌謡、舞踊、カラオケ施設使用料の1/3を助成している。(上限、回数制限[年度1回限り]有)	
③事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
合併前の旭市文化振興基金、海上町文化振興基金に属していた現金、有価証券その他の財産により、新市文化振興基金を設置した。		文化振興基金は毎年ほぼ5,000千円以上の額を取り崩しており、H28年度末をもって基金を廃止し、一般会計に移行する。	・文化振興審議委員会会議にて、基金の廃止について説明。H28年度末廃止。参加者から「身近に見えてよかった」等の意見があった。・助成を受けた団体の発表者から「助成が年1回になったので、開催回数を年1回に減らした」といった意見があるほど、この文化会館を利用する団体にとって助成金のメリットは大きい。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算) 単位: 千円		26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1. 公演等委託料	5,636	5,175	5,509	5,851	5,636	8,843
2. 建物等借上料	3,166	3,555	3,228	3,384	3,166	4,550
3. 報償金	1,360	1,481	1,420	1,338	1,360	1,355
4. 使用料助成	573	885	805	540	573	1,000
5. その他	2,397	2,805	2,594	2,441	2,397	3,182
② 特定財源の内訳(29年度の決算) 単位: 千円		13,901	13,556	13,554	13,132	18,930
1. 国庫支出金	0					
2. 都道府県支出金	0			1,018		
3. 入場料収入	2,541	3,680	3,211	2,222	2,541	4,568
4. その他	3,323	2,380	4,294	3,390	3,323	4,273
		7,841	6,051	6,924	7,268	10,089

前年度増減理由	公演等委託料、建物等借上げ料の減
---------	------------------

従事職員数	常時	2人	最大	22人	×	1日	=	延べ	22人
-------	----	----	----	-----	---	----	---	----	-----

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

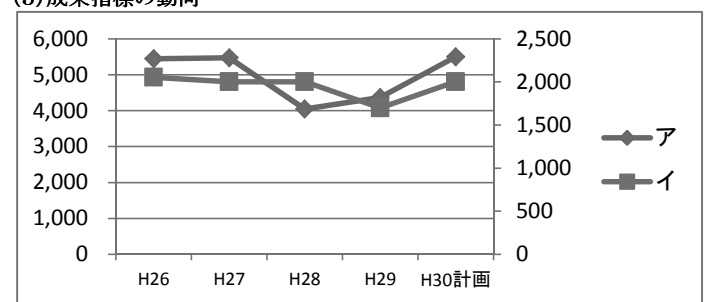
手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動) 市民音楽祭、テレサ・トリオコンサート、あさひのまつり、文化講演会、あさひ寄席、ロシア交流コンサート、NHK公開番組、スプリングコンサート、文化施設使用料助成	ア 市主催事業開催回数(文化祭除く)	回	8	8	8	8	9
		イ 使用料助成件数	件	15	13	13	13	15
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	対象意図 ① 市民 ① 普段味わえない質の高い文化を楽しむ。 対象意図 ② 市の文化団体・サークル ② 助成金のおかげで天きな舞台で発表することができる。	ア 市主催事業(文化祭除く)観覧者数	人	5,441	5,473	4,044	4,365	5,495
		イ 助成によって参加できた団体の発表者数	人	2,055	2,000	2,001	1,698	2,000

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい		②	
	普通			
小さい	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価優先度	①			
	②		(5)	
③	④⑤			
	⑥			
⑦⑧	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ 成果指標のタイプ 数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下
【コメント】 (低下の場合、その理由)	
③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)	時期 8月・12月 内容 市民音楽祭など毎年の主催事業に加え、新規で子ども向け文化教室・親子向けクリスマスコンサートを実施予定 今後の方向性 拡大 ☐ 縮小 ☐ 現状維持 ☐ 廃止・休止 ☐ 見直し ☒ その他() 随時 公演の内容、規模、対象者等見直し生涯学習として相応しい事業を実施していく。